

単位 mm

試験材	資格と記号	溶接方法	試験材寸法
薄板 (裏当て金なし) 最初の記号	基本級 N又はSN-1F 専門級 N又はSN-1V	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き //	板の厚さ 3.2 150×125×2枚
N 手アーク溶接	専門級 N又はSN-1H	横向き //	半自動溶接は200
SN 半自動溶接	専門級 N又はSN-1O 専門級 N又はSN-1P	上向き // パイプ (管) //	溶接方向は長い方です 開先はI型又はV型
中板 (裏当て金あり) 最初の記号	基本級 A又はSA-2F 専門級 A又はSA-2V	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き //	板の厚さ 9 150×125×2枚
A 手アーク溶接	専門級 A又はSA-2H	横向き //	半自動溶接は200
SA 半自動溶接	専門級 A又はSA-2O 専門級 A又はSA-2P	上向き // パイプ (管) //	溶接方向は長い方です 開先はV型
中板 (裏当て金なし) 最初の記号	基本級 N又はSN-2F 専門級 N又はSN-2V	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き //	板の厚さ 9 150×125×2枚
N 手アーク溶接	専門級 N又はSN-2H	横向き //	半自動溶接は200
SN 半自動溶接	専門級 N又はSN-2O 専門級 N又はSN-2P	上向き // パイプ (管) //	溶接方向は長い方です 開先はV型
厚板 (裏当て金あり) 最初の記号	基本級 A又はSA-3F 専門級 A又はSA-3V	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き //	板の厚さ 19 150×125×2枚
A 手アーク溶接	専門級 A又はSA-3H	横向き //	半自動溶接は200
SA 半自動溶接	専門級 A又はSA-3O 専門級 A又はSA-3P	上向き // パイプ (管) //	溶接方向は長い方です 開先はV型
厚板 (裏当て金なし) 最初の記号	基本級 N又はSN-3F 専門級 N又はSN-3V	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き //	板の厚さ 19 150×125×2枚
N 手アーク溶接	専門級 N又はSN-3H	横向き //	半自動溶接は200
SN 半自動溶接	専門級 N又はSN-3O 専門級 N又はSN-3P	上向き // パイプ (管) //	溶接方向は長い方です 開先はV型
全層ティグ溶接 薄板 (裏当て金なし)	基本級 T-1F 専門級 T-1V 専門級 T-1H 専門級 T-1O 専門級 T-1P	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き // 横向き // 上向き // パイプ (管) //	板の厚さ 3.2 150×125×2枚 溶接方向は150です 開先はI型又はV型
組み合わせ溶接 1～3層ティグ溶接 最初の記号	基本級 C又はSC-2F 専門級 C又はSC-2V 専門級 C又はSC-2H	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き // 横向き //	板の厚さ 9 150×125×2枚 半自動溶接は200
C 手アーク溶接	専門級 C又はSC-2O	上向き //	溶接方向は長い方です
SC 半自動溶接	専門級 C又はSC-2P	パイプ (管) //	開先はV型
組み合わせ溶接 1～3層ティグ溶接 最初の記号	基本級 C又はSC-3F 専門級 C又はSC-3V 専門級 C又はSC-3H	下向き (板) 突き合わせ溶接 立向き // 横向き //	板の厚さ 19 150×125×2枚 半自動溶接は200
C 手アーク溶接	専門級 C又はSC-3O	上向き //	溶接方向は長い方です
SC 半自動溶接	専門級 C又はSC-3P	パイプ (管) //	開先はV型

1F・2F・3Fの記号の資格は基本級といいます。最初はこの資格を取得してください。その後、専門級が受けられます。
学科試験：はじめてこの試験を受ける場合は学科試験があります。講習会を受けてから受験されますようおすすめいたします。
受験資格：基本級の試験は、1か月の経験者で15才以上、専門級の試験は、3か月の経験者で15才以上です。

試験材の見取り図

